

福生市議会 **FUSSA** だより

No.193

発行 福生市議会
平成26年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成26年 第2回定例会



▲福生市消防団ポンプ操法審査会の様子 (26.5.25開催)

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の 拡充を求める意見書を提出 災害時対応施設(新学校給食センター)基本設計が始まる

本会議の経過

平成26年第2回定例会は、6月3日から6月20日まで会期18日間で開催され、19人の議員による一般質問が行われ、条例改正、一般会計補正予算など市長提出議案5件、陳情4件などが審議されました。

▼1日目(6月3日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定し、一般質問が始まりましたが、議場会議システムの不具合が発生し、会議の進行ができない状況となったため、急きよ議会運営委員会と協議し、1日目は延会となりました。

▼2日目(6月4日)は、一日目の続きの一般質問から始め、6人の議員が、一般質問を行いました。

▼3日目(6月5日)は、6人の議員が、一般質問を行いました。

▼4日目(6月6日)は、5人の議員が、一般質問を行いました。

▼5日目(6月9日)は、2人の議員が、一般質問を行い、19人の議員の一般質問が終了し、続いて市長から提出された議案は、提案理由の説明後、所管の委員会に付託されました。

▼6日目(6月20日)は、最終日で、委員会へ付託された議案3件と新たに提出された委員会提出議案1件を可決しました。

また、審議した陳情4件のうち1件を採択、2件を不採択とし、陳情1件は、引き続き審査することとなり、最後に福生市農業委員会委員の議会推薦者を決定し、今定例会を終了しました。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されている。しかし、対象となる医療がB型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数にのぼる。特に、肝硬変・肝がん患者は高額の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

また、肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定(障害者手帳)の対象とされているものの、医学上の認定基準が極めて厳しいため、現在の制度は、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされている。

平成23年12月「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」の制定時には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされた。しかし、国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

肝硬変・肝がんにより毎年約4万人の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、緊急な課題である。よって、本議会は、次の事項を実現するよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
(提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

● 主な内容 ●	
可決された案件	2面
議会日誌	2面
一般質問	3~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▽賛成多数

◎福生市国民健康保険税 条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の公布、施行に伴い福生市国民健康保険税条例の一部改正の必要が生じ同条例の一部を改正する条例を専決処分したため、議会の承認を求めもの。

後期高齢者支援金等課税限度額を14万円から16万円に、介護納付金課税標準額を12万円から14万円に、低所得者世帯の均等割の5割軽減については、軽減対象人数の世帯主である納税義務者を追加し、軽減対象所得の引上げにより、また均等割2割軽減については、被保険者に乗ずる金額の35万円から45万円への変更により、軽減割合の拡充を図る。経過措置として、改正後の福生市国民健康保険税条例の規定は、平成26年度以後の年度分の国民健康保険税について適用する。

▽福生市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、法人市民税率引下げ、軽自動車税率引上げ等の規定を整備する必要が生じたため、福生市税賦課徴収条例等の一部を改正するもの。

法人市民税において、法人税割の税率を引き下げ、地方法人税を創設し、その全額を地方交付税の原資とする見直しのため、規定の整備をし、また、外国法人等への課税の見直しにより、外国法人等の恒久施設の規定の追加及び、外国税額控除制度等の規定を整備する。

◎平成26年度福生市一般会計補正予算(第1号)

市内小学校が東京都の委託事業の推進校に指定されたことによる歳入及び歳出事業費の追加、雪害被災農業者の支援、また、福東地域災害時対応施設の基本設計委託などの追加に伴い、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ6093万2千円を追加し、総額を221億5093万2千円とするもの。

今年2月の大雪により被害を受けた農業用ビニールハウスの撤去・再建についての補助、東京都の補助金を活用した地域活性化事業への補助、福

◎福生市表彰条例に基づく一般表彰について

教育委員会委員として貢献された加藤美子氏、社会福祉協力委員(民生委員・児童委員)として貢献された出澤喜代子氏、酒井敏子氏、予防接種医として貢献された岡村秀人氏、交通安全推進委員会委員として貢献された風間富夫氏、清水愛子氏、池田益男氏、廃棄物減量等推進審議会委員として貢献された西村要氏、保護司として貢献された緑川光男氏、廃棄物減量等推進員及び消防団員として貢献された貫井長三郎氏、保護司及び消防団員として貢献された笹本哲夫氏、消防団員として貢献された西川隆史氏、岡部祐人氏、消防団員として貢献された現在もお活躍中の宮崎哲夫氏、山中正巳氏、石井孝明氏、永岡和則氏、高波徹氏、小林寛之氏、山中庸光氏、小澤元希氏、松本卓也氏、坂本圭氏、本橋龍一氏、佐藤友久氏、市行政の重要性を深く認識し古民家及び多額の現金を寄附された田村徹氏、吉村大三郎氏、吉村徳司郎氏、吉村春彦氏、絵画を寄附された栗原一郎氏を一般表彰するもの。



▲地域活性化事業への補助を活用してオープンした福生アメリカハウス

討論

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

今回の条例改正は、地方自治体の重要な財源である法人市民税の引き下げで地方自治体の財政を圧迫させたり、軽自動車税の引き上げで零細自営業者や市民の負担を重くし、格差を広げるものである。反対である。

●これからの勤労青年教育のあり方に関する陳情書

若者が希望を持って住み続けられる福生市を目指すためにも、若者への活動、学習等を支援する条件整備や、また、福生市の社会教育を一層充実させるために、勤労青年教育に新たな視点で取り組むことは大きな意義があり、賛成である。

●医療・介護総合法案による介護保険制度の見直しを求むる陳情書

この法案は、入院患者を強引に在宅に押し戻す一方、要支援者、軽度者への在宅サービスを後退させ、施設にも入所させないというものであり、本陳情は、その医療・介護を受けられる人を限定しないようにとの内容であり、賛成である。

●医療・介護総合法案による介護保険制度の見直しを求むる陳情書

この法案は、高齢者が住みなれた地域で、在宅医療と介護のサービスが受けられる環境を整え、両サービスの連携を促進するための法律であり、陳情者の同法に対する見解とは大きく異なるものであり、反対である。

陳情

●採択

今定例会の各委員会が審査された結果、採択及び不採択となった陳情は次のとおりです。

●不採択

これからの勤労青年教育のあり方に関する陳情書

●不採択理由

要望事項については、既に市では実現していると考えることから、意に沿いがたい。

●不採択理由

介護保険制度については、地域の実態に合わせた地域包括ケアシステムの構築など、新しい制度を作る必要があり、意に沿いがたい。

「議会日誌」

15日	▼4月	東京都議会議長会臨時総会	15日	東京都議会議長会臨時総会
16日		全国市議会議長会基地協議会関東部会正副会長・監事・相談役会議	16日	東京都議会議長会臨時総会
18日		議会運営委員会	17日	東京都議会議長会臨時総会
21日		東京都市町村議会議員公務災害補償等組合理事会臨時総会	18日	東京都議会議長会臨時総会
22日		関東市議会議長会定期総会	19日	東京都議会議長会臨時総会
23日		例月出納検査	20日	東京都議会議長会臨時総会
24日		東京都市監査委員会役員会・定期総会	21日	東京都議会議長会臨時総会
28日		市民厚生委員会協議会総務文教委員会協議会全員協議会	22日	東京都議会議長会臨時総会
7日	▼5月	羽村市視察来市	23日	東京都議会議長会臨時総会
12日		熊本市視察来市	24日	東京都議会議長会臨時総会
13日		広島県府中町視察来市定期監査	25日	東京都議会議長会臨時総会
14日		建設環境委員会行政視察(15日まで)	26日	東京都議会議長会臨時総会
16日		財政援助団体等監査	27日	東京都議会議長会臨時総会
19日		東京都市議会議長会正副会長会議	28日	東京都議会議長会臨時総会
20日		福岡県筑後市視察来市全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会(21日まで)	29日	東京都議会議長会臨時総会
21日		三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議	30日	東京都議会議長会臨時総会
22日		例月出納検査	31日	東京都議会議長会臨時総会
25日		東京都市議会議長会理事會・定期総会		
20日		第2回定例会6日目	27日	関東都市監査委員会定期総会
17日		議会運営委員会	28日	関東都市監査委員会定期総会
18日		全員協議会	29日	関東都市監査委員会定期総会
13日		八高線八王子高麗川間複線化促進協議会決算監査	30日	関東都市監査委員会定期総会
12日		定住化対策特別委員会		
11日		建設環境委員会		
10日		市民厚生委員会		
9日		総務文教委員会		
6日		横田基地対策特別委員会		
5日		第2回定例会4日目		
4日		議会運営委員会		
3日		第2回定例会3日目		
2日		議会運営委員会		
1日		第2回定例会2日目		
4日		議会運営委員会		
3日		第2回定例会1日目		
2日		議会運営委員会		
1日		第2回定例会0日目		

認知症に対し医療と介護の切れ目ない体制づくりを

柳川 英司 議員

質問 認知症は早期発見・早期治療により進行を遅らせることができる。国の認知症施策計画（通称オレンジプラン）でも最重要課題だ。医療と介護サービスを切れ目なく提供する取り組みについて、現状を伺う。

福祉保健部長 早期発見・初期集中治療は、認知症の方が住み慣れた地域で生活できるよう支えるのに必要だと国でも言われている。今後、第6期介護保険事業計画の策定にあたっては、認知症に対し介護と医療

の連携と初期集中治療が大きな課題と考え、認知症の方への支援対策を盛り込んでいきたい。



▲東京都発行のパンフレット

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、19人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

要旨の掲載は一問とし3ページから5ページまでに掲載しました。一般質問の項目は6ページに全て掲載してあります。

詳しくは、8月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー又は図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

教育委員会制度改革等についてどう考えているか

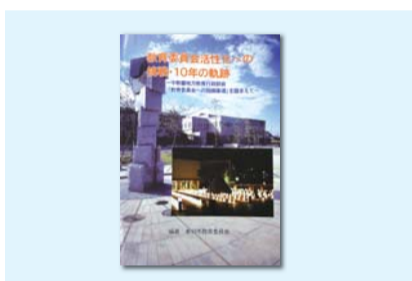
清水 義朋 議員

質問 教育委員会制度を見直す法案が国会で審議されているが、現行制度でも予算編成権の移譲などの事例もある。改革について考えを伺う。

市長 市長は総合的にまちづくりを進める責任ある立場であり、教育はまちづくりの一環だ。教育委員会の独立性は尊重したい。市長と教育現場双方の信頼が厚くなるのが教育によい方向に作用するはずだ。

教育長 教育委員会では委員長を中心に現場の実態を踏まえて実りあ

る議論が行われ、市長には逐一報告している。審議中の法案や他市の事例は大きな変革と捉えている。



▲視察先の春日市の冊子

コンビニにAED(自動体外式除細動器)設置を

末次 和夫 議員

質問 高齢化社会の進行に伴い、救命機器AEDの設置を公共施設だけでなく、場所が特定しやすく夜間使用も可能な市内コンビニ全店舗に設置できないか。

市長 現在、市内の施設や学校37カ所に39台設置し、イベント等への貸出し用として市役所にも追加配備するとともに、防災マップに設置場所を載せるなど普及・周知に努めている。大手コンビニチェーン本部に問い合わせたところ、現在自ら

設置する予定はないとのことだが、他自治体での設置協力事例もあり、動向を注視し検討していきたい。



▲携帯型 AED

消防団を中核とした地域防災力の充実に支援を

田村 昌巳 議員

質問 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立、施行された。その内容と、福生市の消防団に対する支援の取り組みを聞く。

市長 法律には、消防団への加入促進、団員の処遇改善、装備及び教育訓練充実、消防団と自主防災組織等の連携等による地域防災力向上、活動拠点施設の整備など5つの基本的施策がある。市では既に法律施行前から消防団への支援を実施しているが、さらに充実させたい。

総務部長 消防団活動交付金の見直しや地域防災力向上のためOBによる新たな組織づくりも検討している。



▲福生市消防団出初式の様子

まちづくり総合活性化プロジェクトの目的、活用を聞く

町田 成司 議員

質問 まちづくり総合活性化プロジェクトの報告書がまとめられたが、目的と経緯、今後の活用法を伺う。

市長 日本全体の人口減少の流れの中で、土地利用、交通、産業、社会インフラの4分野の政策により福生市の将来人口がどう変化するかを、職員のプロジェクトチームが自らシミュレーション、研究したものである。

企画財政部長 参加職員からはさまざまな提案があった。今後、5つのジャンルでの施策で定住化に取り

組んでいく。各事業担当部署では、研究報告を参考に実施計画等の施策事業を検討展開していく予定である。



▲まちづくり活性化プロジェクト発表会の様子

健康づくりのための講演会の反響と今後の推進は

串田 金八 議員

質問 講演会「歩き方を変えるだけで10歳若返る」の反響は。健康づくりについて今後どう推進するか。

市長 健康づくり推進員との協働事業「健康ふっさ21」の啓発・PRとして講演会を行った。2月の大雪で中止したが、要望が多く4月に改めて開催した。予想を上回る来場者があり、3分間速く3分間ゆっくり歩く「インターバル速歩」を推奨するわかりやすい内容も好評で、講演後の健康づくり推進員による活動実

演も盛り上がった。推進員活動の1つに、健康ウォーキングにこの速歩を取り入れ、活用していきたい。



▲健康づくり講演会のポスター

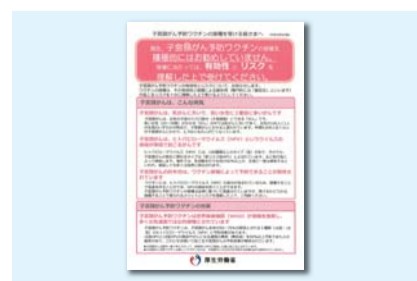
副反応が怖い子宮頸がんワクチンへの対応は

田村 正秋 議員

質問 子宮頸がんワクチンの基本的情報が与えられないまま、市民は一方的な接種を呼びかけられている。副反応等の被害が心配されるが、救済制度など対応はどうなっているか。

市長 市では広報、ホームページで接種の積極的勧奨の差控えを案内しているが、国の定期接種から外されていないため、現在も接種希望者は無料で接種ができる。国の動向を注視し、通知があれば遅れることなく情報提供し、対応していきたい。

福祉保健部長 定期予防接種による健康被害へは、国の予防接種後健康被害救済制度による給付がある。



▲厚生労働省のリーフレット

学校教育法施行規則改正を受け土曜日授業の対応は 杉山 行男 議員

質問 学校教育法施行規則改正により、代休日を設けない土曜日授業の実施ができるようになったのか。本市での事例についても伺いたい。

教育長 東京都教育委員会の平成22年1月の通知により月2回まで土曜日授業はできるようになった。本市では公開授業やセーフティ教室等のため小学校で3.7日、中学校で3.6日実施していて、施行規則改正前から振替休日なしの実施校もあり、夏季休業日短縮も含め年間8日程度

授業日を確保している。今後も学校週5日制の趣旨は踏まえつつ、土曜日授業の効果的活用を指導していく。



▲第二小学校で行われたセーフティ教室

学校評価システムは本市でどう活用されているか 武藤 政義 議員

質問 学校自身を評価する学校評価システムは、教育力を上げ成果も大きいと考えるが、本市の公立小・中学校ではどう活用されているか。

教育長 改正学校教育法に基づいて平成20年度にガイドラインを定め、本市の学校評価システムとして全校で実施してきた。その結果、現在、学校におけるさまざまな教育活動を、計画・実践・評価・改善というPDCAサイクルで評価し公表している。学校が学力向上や不登校対策に取り

組む姿勢や方策を保護者や地域に報告し、理解と応援をいただく機能となるよう学校を指導していく。



▲学校評議委員会の様子

子供が自分の問題として取り組むいじめ対策を 岩崎 百合子 議員

質問 いじめを受けてもひとりで抱え、見ても見ぬふりをする子供たち。教師や保護者はもちろん、子供自身が自分の問題として取り組む必要があると思うが、どう考えるか。

教育長 いじめ防止対策の基本は未然防止であり、それには子供自身がいじめを許さない態度を身につけるよう取り組むことが大事である。今後は、東京都のいじめ防止対策推進条例の施行を踏まえ、福生市教育委員会で作成予定の「いじめ防止基

本方針」の中に、子供自身によるいじめ未然防止を一層推進する取り組みを位置づけ実施していきたい。



都と連携し通学路への防犯カメラ設置推進を 堀 雄一朗 議員

質問 防犯力の向上はまちの魅力につながるとの声は多い。都は通学路防犯カメラ設置を5年計画で開始した。市の取り組み姿勢を問う。

教育長 東京都の計画は、小学校通学路の防犯カメラ設置費用2分の1を補助する事業で、1校当たり5台、今年度は260校に設置を計画している。補助要件は学校、地域、保護者による児童の見守り体制があることだが、本市の見守り活動は自発的なボランティアによるところが大

きく、要件に合致するか確認が必要で、今後条件整備や関係機関との課題を整理し、研究していきたい。



▲登校中の小学生

地域の実情を踏まえた包括ケアシステムのあり方は 五十嵐 みさ 議員

質問 地域包括ケアシステムは、介護保険持続のため財源と給付の均衡が前提となるが、どう取り組むのか。

市長 高齢者は住まいを中心に、日常はかかりつけ医にかかり、そこに地域包括支援センターやケアマネージャーがかかわる。生活支援サービスを利用し自治会活動などに参加するが、在宅や通所の介護サービスが困難になれば施設サービスを利用する。厚労省の描くこの地域包括ケアシステムの構築と介護保険制

度の持続可能性確保が、次期制度改正の基本点とし、市の事業計画の実現に向け必要な施策を検討していく。



▲地域包括支援センターの市役所カウンター

駅周辺の放置自転車の現状と今後の対策を問う 大野 聡 議員

質問 福生駅西口駅前ロータリーから駅前通りの放置自転車は後を絶たず、通行人は非常に迷惑している。その現状と今後の対策を伺いたい。

市長 福生駅西口自転車駐車場の設置のほか、日曜・祝日を除く毎日、シルバー人材センターに委託し、午前は指導と撤去、午後は整列を行う等安全な通行路の確保に努めている。広報ふっさや駅周辺の看板設置等により放置禁止の啓発も行っているが、指導等を行っていない時間帯には道

をふさいでいることもある。今後は午後の時間帯も指導を徹底していく。



▲撤去中の放置自転車

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジター方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

☎042-551-1523

○デジター (DAISY) とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

(利用者一割負担)

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたらと思います。「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

ケーブルテレビで本会議の生中継を放映します

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

お詫び

6月3日(火)に発生した議場会議システムの不具合により、6月9日(月)までの間、本会議の様子をインターネット及びケーブルテレビで配信することができず、市民の皆様並びに関係者の皆様大変ご迷惑をおかけいたしました。ここに、謹んでお詫び申し上げます。

路面下にひそむ空洞調査を進めては

原田 剛 議員

質問 下水道管などの老朽化が進む中、道路の路面下に空洞がひそむ危険がある。調査を行う考えは。

市長 路面下空洞調査は、国の社会資本整備総合交付金を活用した道路ストック点検の一環として、陥没の予防措置を講じる目的で平成27年度に行う。26年度には、舗装路面のひび割れ、わだち掘れ、平坦性の路面性状調査を実施し、緊急対策と今後の維持管理に役立てる。下水道損傷については、下水道長寿命化

基本計画を策定する中で予防保全と事故防止を図ることとし、26年度から第1期分調査を行う計画である。



▲路面下空洞探査車

義務教育で食育教育を担う学校給食の無料化を

池田 公三 議員

質問 憲法第26条は、「義務教育はこれを無償とする」と規定している。また、学校給食無料化は、子育て世代の定住化策としても有効であり、実施する自治体も増えているが。

教育長 学校給食の経費負担は学校給食法に規定され、食材費は保護者の負担とされており、これまでも食材は保護者からの学校給食費で購入している。また、経済的に苦しい世帯には、制度に基づき公費により学校給食費支援を行っている。今後

も学校給食費については、引き続き保護者の負担とさせていただき、無料化を実施する考えはない。



▲地場産野菜を使用した給食

子育てを支援する乳幼児預かり環境の現状は

阿南 育子 議員

質問 ベビーシッターによる乳幼児殺害や傷害の事件があった。当市の乳幼児預かりの環境と、乳幼児ショートステイの現状を伺う。

市長 ファミリー・サポート・センター事業では、保育所や学童クラブへの送迎、保護者の病気時などに預かり等を行っている。乳幼児ショートステイは宿泊利用もできる。多様なニーズへの支援充実を図りたい。

子ども家庭部長 乳幼児ショートステイは、生後57日から小学校就

学前乳幼児を対象に社会福祉法人東京恵明学園へ委託し、25年度には宿泊など16日の利用があった。



▲社会福祉法人東京恵明学園

市内唯一の田んぼを守って

大野 悦子 議員

質問 福生市に田んぼが1カ所残っているが、昨年は田植えが見送られて、市民は心配している。この田んぼをどう守っていく考えか。

市長 田んぼの所有者が高齢で田植えが困難で見送られた。今年4月から、所有者の指導を受けながら、水田保全に賛同してくださった方々が稲作のお手伝いを行っている。手探り的に取り組んでいるものであり、次年度以降については、今年度の状況を見て支援のあり方等を決めてい

く。個人の水田なので、所有者の意向を確認し、調整を図りながら支援していきたい。



▲市内で唯一の田んぼでの田植え

地域振興、シティセールスにふるさと納税の活用を

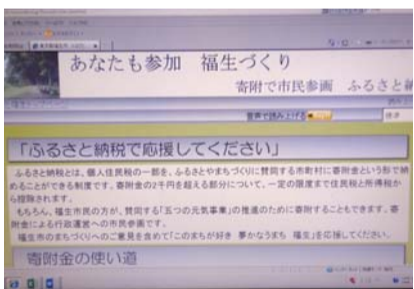
青海 俊伯 議員

質問 ふるさと納税と、全国自治体が取り組む地域振興、シティセールス施策との連動をどう考えるか。

市長 自治体が寄附のお礼に特産品を贈呈する特典付ふるさと納税が全国で話題となっている。評価する一方で問題だとする意見もあるが、地域経済の活性化施策と税外収入確保の両面から積極的に研究していく。

総務部長 費用対効果からどれだけ経費を削減できるか、特産品提供事業所をどう募るか、寄附者への適

切なお礼の程度等に問題もある。商工会等とも意見交換し、先進市の事例も研究していきたい。



▲福生市のふるさと納税ホームページ

横田基地起因事故の前例は

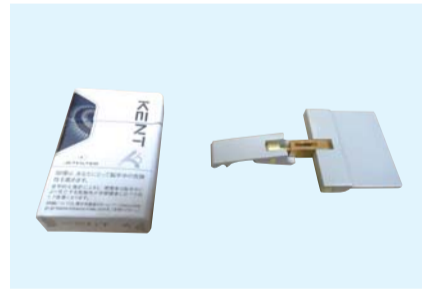
奥富 喜一 議員

質問 横田基地に起因する事故は市民に恐怖や驚きを与えてきた。具体例としてどんなものがあるか。

市長 基地の運用に係るものから設置に係るものまで多岐にわたる。

企画財政部長 昭和38年にB-57爆撃機が埼玉県毛呂山町に墜落した事故の他、平成5年のドラム缶約340本分の航空機燃料漏れ、最近では平成26年3月にC-130輸送機のパネルやアンテナの紛失事故が発生している。市では、国等から事故

の連絡が入ると市民の安全を第一に考え、適切な対応に努めている。



▲航空機部品落下事故の同型部品

第64回 福生七夕まつり 8/7~8/10



今年も民踊パレードに参加します!



昨年の七夕まつり民踊パレード参加風景

平成26年 第2回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 末次 和夫 (一問一答)	1 福生市の安全・安心について (1)新型インフルエンザ等対策行動計画について (2)災害時要援護者登録制度について (3)A E D (自動体外式除細動器)のコンビニ設置について 2 英語教育の今後の展開について (1)英語教育に対する教育長の認識について (2)国の英語教育特区を含む今後の取り組みについて	⑪ 杉山 行男 (併用)	1 「60歳代を高齢者と言わない」宣言について 2 子育て世代支援の住宅購入融資補助等について 3 ラスパイレス指数について 4 土曜授業について (1)平成25年11月の省令改正を受けての対応について 5 小・中学校新教材「私たちの道徳」の取り扱いについて
② 町田 成司 (一問一答)	1 福生市の活性化について (1)まちづくり総合活性化プロジェクトについて 2 教育について (1)福生市における幼児教育の現状と今後について (2)通学路の問題点解決に向けた進捗状況について	⑫ 岩崎 百合子 (一括)	1 市民意見の聴取について 2 ファミリー・サポート・センター事業について (1)事業の進捗状況について (2)安全な援助活動を維持するための取り組みについて 3 いじめ対策について
③ 田村 正秋 (一括)	1 福祉保健行政について (1)はしか感染について (2)子宮頸がんワクチンについて 2 永田橋下流周辺整備後の利用について 3 福生駅西口自転車駐車場について (1)現状について (2)今後の有効利用について 4 市民情報のPRについて (1)まちの魅力を発信する数々のPRについて	⑬ 五十嵐 みさ (一括)	1 地域包括ケアシステムについて (1)福生市における地域包括ケアシステムの現状と課題について (2)地域の実情を踏まえた効果的な支援のあり方について (3)認知症の予防と支援等について (4)医療・介護等の専門的な支援等について
④ 柳川 英司 (一括)	1 認知症対策等について (1)福生市における認知症の実態と今後の推移について (2)これまでの認知症施策の再検証及び今後の方向性と取り組みについて 2 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」について (1)福生市としての計画及び施策の取り組みについて (2)教育分野としてどのように生かすか	⑭ 池田 公三 (一問一答)	1 災害時対応施設(新学校給食センター)について (1)安全安心な給食のために、毎日、一食分丸ごとの放射能測定を (2)食育教育推進で学校や関連機関との連携を (3)食物アレルギー対応の外部委託は見直しを (4)災害時対応施設は将来にわたって市の直営で 2 学校給食費の無料化について
⑤ 清水 義朋 (一括)	1 オープンデータについて (1)行政情報のオープンデータ化について 2 教育委員会改革等について	⑮ 大野 悦子 (一括)	1 市内唯一の田んぼについて (1)田んぼを守ることに 2 防災と安全安心の取り組みについて (1)2月の降雪・積雪被害の詳しい内容と分析について (2)町会・自治会の活動と行政との関わりについて
⑥ 田村 昌巳 (一括)	1 消防団に対する支援等について (1)消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律について (2)当市の取り組みについて 2 教育施設の老朽化について (1)中央体育館の建て替えについて (2)小・中学校の建て替えについて	⑯ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)横田基地があるためにどのような損失があるか (2)横田基地起因事故の前例について 2 だれでも乗れる循環バスの運行について (1)福生市内の公共交通の現状について (2)住み続けたいまちを目指してについて (3)交通基本条例の制定について
⑦ 串田 金八 (一括)	1 地籍調査について 2 健康づくりについて	⑰ 原田 剛 (併用)	1 道路の路面下空洞化の調査について 2 大雪に対する検証について 3 保健医療体制の充実について (1)特定健診・がん検診の受診率向上及びセット検診について (2)若年層の健康診査について (3)胃がんリスク検診の推進について 4 教育施設について (1)非構造部材に対する耐震化整備計画について (2)学校施設の非構造部材の耐震化について (3)小・中学校の校門の施錠について
⑧ 武藤 政義 (一括)	1 保育料、学童クラブ育成料の徴収について (1)徴収業務の方法について (2)徴収状況について 2 ふっさ子育てまるとくカードについて (1)実施状況について 3 赤ちゃんはじめての絵本事業について (1)実施状況について 4 学校評価システムについて (1)評価方法について (2)評価の活用について	⑱ 阿南 育子 (一問一答)	1 子どもに寄り添う子育て支援について (1)乳幼児の預かりの環境について (2)学童保育について 2 瀬戸際を救う支援について (1)生活困窮者自立支援について (2)ひきこもりの相談に対する対応について 3 災害時対応施設(新学校給食センター)について (1)パブリックコメントと説明会について
⑨ 堀 雄一郎 (併用)	1 子育てと教育に関する相談体制について (1)乳幼児から18歳までの子育てに関する相談について (2)教育センターの機能について 2 通学路の安全対策について (1)登下校の見守りに (2)通学路防犯カメラの設置について 3 図書館基本計画について (1)駅などへのブックポストの設置について (2)カフェコーナーの設置について (3)利用しやすい開館日時について	⑲ 青海 俊伯 (一括)	1 まちづくり総合活性化研究報告書について (1)研究報告書の評価 (2)研究報告書の政策提言と福生市総合計画第4期、分野別計画との関係 (3)各ワーキンググループの政策提言の施策化と実施について 2 ふるさと納税について (1)福生市ふるさと納税への期待と現状について (2)全国の自治体で取り組む、地域振興、シティセールス施策との連動について (3)税外収入の拡充について
⑩ 大野 聡 (一括)	1 福生市清潔で美しいまちづくり条例について (1)現状、対策及び課題等について (2)今後の取り組みについて 2 駅周辺の放置自転車対策及び自転車駐車場対策について (1)放置自転車の現状と今後の対策について (2)市営自転車駐車場の現状、問題点及び対策について 3 使用料、手数料等について (1)使用料、手数料等の見直しの基準について (2)今後の改定計画について (3)公民館等の使用料の減免措置等の取り扱いについて		

委員会の審査から

建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案と、継続審査となっていた陳情の審査が6月10日、11日、12の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で7回行われました。

それから、横田基地対策特別委員会、定住化対策特別委員会が6月13日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

6月10日に委員会が開催され、議案1件を審査し原案のとおり可決しました。また1件の陳情を継続して審査することといたしました。

この費用については米軍ハウス、具体的には国道16号線のベーグル店の裏に空き家ができたというところで、米軍ハウスを組合で借り上げる費用となる。

ここをコミュニティの場として活用するとともに、市としても独自の観光資源でもある米軍ハウスを活用して、国道16号線エリアの観光案内、また市特有の情報発信をしたいと考えている。

米軍ハウスの保存活用ということについて、全体の事業費総額はいくらになるのか。また、米軍ハウスの活用とすることで、その費用はどのような形で使われるのか。

また、再建の方については、国が2分の1、東京都が10分の2、市の方角が10分の3の補助となる。

全体経費として約529万3300円となり、新元気を出せ商店街事業費補助の対象補助事業については、約400万円となる。そのうち3分の2を都と市が負担

委託先は福生武蔵野商店街振興組合となる。雪害被災農業者支援補助金のもう少し詳しい内容は、また、消費者対策費で「たっけー☆☆」を活用するということだが効果を、どのように考えているのか。



▲大雪で被害を受けたビニールハウス

雪害被災農業者支援事業は内容として二つあり、撤去費の補助、こちらは国が2分の1、都が4分の1、市が4分の1で、全額補助となる。

今回の雪害では、9棟のビニールハウス等の被害があったが、今のところ4棟について再建の希望が出されている。

市民厚生委員会

6月11日に委員会が開催され、2件の陳情を審査し、1件を採択、1件を不採択としました。また、2件の所管事務調査を行いました。

また、再建の方については、国が2分の1、東京都が10分の2、市の方角が10分の3の補助となる。

意見 医療費の大変な経済的負担のため、医療費助成の拡充が必要である。また、身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準も実態に応じた認定制度へ緩和する必要から採択を求めている。



▲審査の様子

総務文教委員会

6月12日に委員会が開催され、3件の議案と1

しを行わないよう意見書提出を求める陳情書 意見 介護保険制度については、地域の実態に合わせた地域包括ケアシステムの構築など、新しい制度をつくる必要がある。意に沿いがたいので、不採択を求めている。

◎平成26年度福生市地域福祉推進委員会開催スケジュールの所管事務調査 7月に現状の把握と課題の確認後、協議・検討等を重ねて、11月下旬に中間答申案を作成。パブリックコメントの実施後、年明けの2月に最終答申を行う予定である。

◎所在不明児を出さない対応の所管事務調査 保健師等が新生児訪問し健診の案内をする。未受診の場合、電話連絡や訪問をし、細かく生活の状況などを観察している。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るといった目的で、法人住民税法人税割を一部国税化し、その全額を地方交付税の原資とする改正と、消費税及び地方消費税の改正に伴い、都道府県税の自動車取得税を引き下げる一方で、軽自動車税を引き上げる、車体課税の見直しが行われたのが主な内容である。

◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例 都市機能の向上に資するとは。

◎市町村が計画に基づき進めるコンパクトなまちづくりにおいて、都市機能とあわせて事業者が



▲税の改定が行われる軽自動車

整備する広場、緑地、緑化施設等に対して、課税標準額を5年間5分の4とする減額規定を追加する。

◎平成26年度福生市一般会計補正予算(第1号) 歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分) 被災農業者支援事業補助金に関して、農業共済など、他の公的な保険も入っている農家の方は、雪害被災農業者補助金を更にもらえるということなのか。

◎小・中学校体育館非構造部材落下防止対策の内容は。

◎市民会館と体育館3館では調査がどのように違うのか。

◎市民会館は天井の裏に点検用の通路があるが、体育館3館には天井がなく通路がないので、足場を組んで調査をする必要があるというのが調査の違いである。

◎これからの勤労青年教育のあり方に関すること

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。



意見 非常に厳しい現状にある青少年が多いというところを、この陳情は問題視しており、共感できるので採択していただきたい。

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におかけください。

平成26年第3回定例会は、9月2日(火)から9月30日(火)までを予定しています。

◆本会議(予定) 午前10時開会

9月2日(火)～9月5日(金)及び9月30日(火)

◆常任委員会(予定) 午前10時開会

9月17日(水)～19日(金)

◎補聴器をお使いの方のために、議場には補聴器に直接音声を送る磁気ループを完備しています。

請願・陳情の提出方法

市議会は、市政等に対する皆様の要望を「請願」や「陳情」としていつでも受け付けています。9月定例会では、9月1日までに提出された請願・陳情を審査します。

◎請願

市議会議員の紹介が必要です。議会に出された請願は、所管の委員会に付託の上、審査されたのち、本会議で採択・不採択が決められます。採択された請願は関係者(執行機関、国等の関係機関)に送付します。

◎陳情

市議会議員の紹介は必要ありません。市議会における審議等の扱いは、請願と同様です。

◎請願(陳情)の書き方

- ①題名
- ②紹介議員の署名(陳情書の場合は不要)
- ③請願(陳情)趣旨
- ④請願(陳情)事項
- ⑤提出年月日
- ⑥宛先(福生市議会議員)
- ⑦請願(陳情)者の住所、氏名、押印、連絡用の電話番号

※請願及び陳情は郵送ではなく持参してください。

〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 _____

請願(陳情)趣旨 _____

請願(陳情)事項

1. _____

2. _____

平成 年 月 日

福生市議会議員 様

請願(陳情)者

住所 _____

氏名 _____

連絡先の電話番号 _____

※陳情書には紹介議員の記載は不要です

定住化対策 特別委員会

6月13日に委員会が開催され、3件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1. 福生市住宅マスタープランに関わる施策の一覧について

本年3月に策定された「福生市住宅マスタープラン」に掲げた基本施策29項目について、平成26年度予算に計上した具体的な施策の内容の説明を受け、質疑応答を行いました。

特に重点施策として計上した「ファミリー世帯向け住宅建替促進のための既存住宅除去費助成事業」をはじめ、23事業を予算計上したとの報告がありました。



▲委員会で行われた勉強会の様子

3. 子ども・子育て審議会の中間報告について

現在、市が市民、有識者、保育園・幼稚園等の関係者に参加していただき設置、審議している「子ども・子育て審議会」の審議状況について中間報告がありました。

平成27年度から施行される子ども・子育て新システムについての法律の概要と福生市の保育需要

横田基地対策 特別委員会

6月13日に委員会が開催され、横田基地に関する4件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1. 平成25年度防衛補助事業実施状況について

第8条の民生安定施設補助事業として、福東緑地整備事業、第1分団の消防ポンプ自動車更新事業など計4件に約1億6231万3千円。第9条の特定防衛施設周辺整備調整交付金は、武蔵野台児童会館冷暖房空調整備改良事業等3事業に直接充当し、残りは古民家保存事業など3事業は基金へ積み立てました。

2. 平成27年度防衛補助事業概要要望について
第8条要望事業として災害時対応施設整備事業(新規事業)と市道幹線II-19号線外1改良事業(継続事業)の2件について報告がありました。

3. 横田基地周辺対策等要望事項(案)について
7月17日に全委員による

北関東防衛局への要請行動

26.7.17



▲北関東防衛局への要請行動(26.7.17)

特別委員会活動から...

編集後記

6月は梅雨らしい天候が続きましたが、本会議が1日延会となるトラブルがありました。トラブルの原因は、マイクの切り替えが出来ないこと、映像配信が止まったことなどで、その後、議事録作成の録音が出来ない事、修理を待つて再開出来る状態ではないことから延会となりました。修理後の報告では、インターネット内の部品と、通信ケーブルコネクタの不備との事でした。当日の事前テストでは問題なかったとの事でした。トラブルにより1日をふいにした理事者・議員の時間的な損失は多大了。改めて危機管理の重要性と点検の必要性を感じました。

また、インターネット配信が中止され、議会議場の様子に配信中に配信できなかったことは誠に残念でした。原因究明につきましては、二度とあってはなりませんので、徹底的に行い、専門家でもなくとも分かる説明を求めています。議員一人一人が高い意識をもち、真摯な議論に務めておられますので、インターネット配信も含め、議会の傍聴をお願いいたします。